

本研究会は昭和 37 年に発足しました。前身の学校衛生会、川崎市保健会養護部会、養護教員研究会での取組も相まって、62 年の時を経た研究成果は、川崎市立小学校の養護教諭に脈々と受け継がれています。養護研究会の研究テーマを踏まえて地区研究テーマを掲げ、平成 7 年度からは 7 行政地区ごとに 7 年に一度の「紀要作成」と「研究報告会」、5 月の総会后と 7 月に「研修会」を開催してきました。

平成 24 年度からは、養護教諭経験のある校長も研究会長を務めるようになり、令和 4 年度からは、川崎市立特別活動研究会と共催で南北 2 地区での「授業研究会」を 10 月に行っています。

健康課題解決に向けた地区ごとの研究、養護教諭の資質・能力を高める研修会、子どもたちの豊かな学びをめざした授業研究会を柱に、141 名の会員と共に本年度の研究活動がスタートしました。

令和 6 年度川崎市小学校教育研究会活動方針である、予測困難な社会を自立的に生きる子どもたちを育む小学校教育の創造～学習や生活の出来事に対して「見方・考え方」を働かせて、考えることができる子どもの育成～を具現化すべく、研究テーマ「児童の豊かな心とからだを育む健康教育をめざして」、「原点 創造 未来」「自助 共助 公助」を合言葉に、認め合い高め合う研究会であり続けたいです。

令和 6 年 5 月吉日

川崎市立小学校養護研究会 会長 菊地美和子